

きずな



新浦安
分会

No.36

2021・

11・16

発行責任者
坂本暢雄
編集・教宣

10年後の地震……

10月7日22時40分頃、千葉市を震源とする地震が発生しました。点検を要する揺れは東日本大震災以来とのことで夜遅めの時間だったこともあり多くの路線が終電まで運転できなくなりましたがその影響は翌日朝の通勤時間帯にまで及びました。

徒歩での巡回のため時間を要すると言うこともあり、点検体制が整っても線路内に降りられなかったという現場社員の声もありました。

揮系統を發揮することができなかつたようです。コロナに便乗したかのような窓口閉鎖は素早くやるのです。……

10月16日開催された地方大会に新浦安分会の代議員として佐藤達由さんが出席し職場で直面している問題を発言しました。

第75回定期地方大会開催

千葉みなとの怪……

千葉みなとは1徹1日勤のため1人勤務の夜の休憩は窓口を閉めての休憩となります。窓口の呼び出しボタンを使用せずにテレフォンセンターに電話し窓口対応を求めるお客様がいるとのことですが何故？ という疑問は拭えませんが、本人に聞くわけもいかず想像の域を



(発言骨子) JESSの管理者は各現場の内規以前に現金を扱えない契約となっていたため巡回時に猫の手でも借りた業務輻輳時にも窓口に入っ手伝うことはしません。駅務長と2名での勤務の際には窓

出ませんが呼び出しブザーを押すのはためらいがあるのか……電話をして対応を依頼する方が気持ちが悪くなるのか……
カーテンを閉め社員の姿が見えない窓口を開けさせるのは会社が思っている以上に心理的に負担がかかっているのかもしれない。

口業無を行えるのは結局一人だけということになります。駅の営業に特化した会社なのに現場の管理者が駅業務を行えないのは矛盾でしかありません。また、コロナワクチン接種の際の体調不良による「免除」は泊まり職場では代務者手配のこともあり自ら休みを申し込むなど有名無実化していること。勉強会や説明会などまつたくやらず、資料を丸投げするだけで現場からの疑問には対処的に応じるなど会社未来を見据えた技術継承が危ぶまれている現状を問題として発言しました。

千葉地本
HP開設!

